

第 35 回日本保健医療行動科学会学術大会のご案内 [2021.5.8.更新版]

- テーマ 医療者が当事者性を持つことの意義を問う
- 会期 2021年6月26日(土)・27日(日)
- 開催方法 オンラインによる開催 (Zoomによるリアルタイム配信)
- 大会長 安酸史子 (関西医科大学)

「当事者性に関するテーマを第34回学術集会から引き継ぐ。さらに本大会では専門家として巻き込まれる勇気、巻き込まれながらも戻ってくる力、巻き込まれることを推奨しすぎることの弊害などの切り口からアカデミックな視点からも当事者性を問うていく大会としていきたい。(安酸)」

※最新情報は、随時、日本保健医療行動科学会 Web サイト (<http://www.jahbs.info/>) に掲載します。

※「第35回大会専用 Web サイト (<https://confit.atlas.jp/guide/event/jahbs2021/top>)」が開設されました！

▼プログラム概要 (プログラム内容は一部変更される場合があります！)

6月26日(土)

(午前) (拡大理事会、顧問・評議員会、総会)



基調講演「当事者性を大切にしたセルフマネジメント支援」
安酸史子 (第35回学術大会長, 関西医科大学)

(午後) ワークショップ I

①「コーチングを活用したセルフマネジメント支援」 諏訪茂樹 (東京女子医科大学)

特別講演「当事者からみたセルフマネジメント支援」

武田飛呂城 (一般社団法人ピーベック理事、日本慢性疾患セルフマネジメント協会事務局長)

シンポジウム I 「当事者を支える重要他者としての専門家・家族の役割」

コーディネーター 安酸史子 (関西医科大学)、仲尾唯治 (本学会顧問、AIDS & Society 研究会議監事)

シンポジスト 家族の立場から 杉山千波 (大阪 HIV 薬害訴訟原告団理事、NPO 法人ネットワーク
医療と人権 遺族担当相談員)

専門家 (看護師) の立場から 寺口淳子 (京都福祉サービス協会 訪問看護ステーション
ぱあとなあず南、メモリアル・キルト・ジャパン代表、AIDS & Society 研究会議理事)

武田飛呂城氏の主治医からのビデオメッセージ 岡 慎一 (国立国際医療研究センター、センター長)

シンポジウム II 「セルフマネジメント支援における当事者性とは何か—専門家の立場から—」

コーディネーター 諏訪茂樹 (東京女子医科大学)

シンポジスト 社会福祉の領域から 梓川 一 (東大阪大学)

臨床心理の領域から 樋口倫子 (明海大学)

看護の領域から 宮本真巳 (亀田医療大学)

落語についての講演 (録画による) 桂文我 師匠 テーマは当日のお楽しみ！

司会 中川 晶 (京都看護大学、なかがわ中之島クリニック)

6月27日(日)

(午前) 一般演題口頭発表

一般演題ポスター発表

交流集会

(午後) ワークショップ II

②「アサーションを活用したセルフマネジメント支援」 樋口倫子、林 哲也 (明海大学)

③「医療者のためのナラティブ・アプローチ」 中川 晶 (京都看護大学、なかがわ中之島クリニック)

④「動機付け面接を活用したセルフマネジメント支援」 瀬在 泉 (防衛医科大学校)

▼大会事務局・問い合わせ等

第35回日本保健医療行動科学会学術大会実行委員会事務局 担当: 上山千恵子 (大会事務局長)

Email: 35jahbs@gmail.com

〒573-1004 大阪府枚方市新町2丁目2番2号 関西医科大学看護学部

▼一般演題発表（口頭発表・ポスター発表）の募集（採択審査あり）

学術研究報告（発表）を「研究報告」とし、実践・活動等報告（発表）を「実践・活動報告」とします。「実践・活動報告」は、健康行動に関する実践・活動等について、その目的、実践・活動内容、評価（結果・成果）、課題等を発表してください。「研究報告」「実践・活動報告」ともに口頭発表あるいはポスター発表が可能です。

口頭発表 発表時間 15分+質疑応答10分で、計25分です。

※当日発表時間になりましたら、オンライン（Zoom）にてパワーポイント等を画面共有しながら発表していただきます。その後、座長の進行のもと質疑応答と交流の時間を設けます。

ポスター発表 発表時間は7分+質疑応答3分で、計10分です。

※発表者にはあらかじめPDF形式にてポスターデータをご提出いただき、大会開催期間中は「大会Web会場」内に掲載いたします。また当日はオンライン（Zoom）にてポスターを画面共有しながら発表していただきます。その後、座長の進行のもと質疑応答と交流の時間を設けます。

※ポスターデータ提出期限は6月上旬頃になる見込みです。ポスターデータの詳細は、別途お知らせします。

演題登録及び抄録原稿提出について

演題登録と同時に抄録原稿の提出をお願いします。抄録を審査し、採択審査をいたします。審査結果は登録締め切り後1ヶ月以内に連絡する予定です。発表日程と順番は5月下旬頃までに連絡する予定です。

※発表内容は保健医療行動科学に関連する研究または健康行動に関する実践・活動等で、国内外を問わず未発表のものに限ります。

※人および動物が対象である研究の場合は、倫理的配慮について抄録の本文中に明記してください。

※一般演題の発表者は、共同発表者を含めてすべて会員である必要があります。

非会員の方は、本学会Webサイトの入会申込から入会手続きを行ってください。

（会計年度（年会費）の関係もあり、3月中の入会については、次年度（4月）入会として取り扱います。）

※抄録様式：用紙はA4サイズ1枚（本文は2段組み）です。抄録の書式と雛形は、下記の大会参加登録完了後に「第35回大会専用Webサイト」らダウンロードしてください。

※発表者の判断・責任において、発表者の電子メールアドレスを抄録に掲載していただくことができます。

その場合は、抄録本文の末尾に（連絡先：氏名、電子メールアドレス）のように記載してください。

演題登録・抄録提出方法 「第35回大会専用Webサイト」の「演題登録」から登録と抄録のアップロードを行ってください。詳細は「第35回大会専用Webサイト」をご参照ください。

演題登録・抄録提出期間 2021年3月15日（月）～5月7日（金）（期間が再延長されました！）

▼交流集会企画の募集（採択審査あり）※今大会では新たに「交流集会」の企画を募集しています！

交流集会は、研究者グループが主体的に企画・運営し、参加者との学術的な交流を目的としています。保健医療行動科学に関する各テーマで自由な形式で発表及びフロア参加者とのディスカッションを行っていただきます。企画者の責任において開催することを考慮した上でご応募ください。詳細はWebサイトをご覧ください！

企画登録・抄録提出期間 2021年3月15日（月）～5月7日（金）（期間が再延長されました！）

▼大会参加費

大会参加費 会員5,000円、非会員6,000円、大学院生3,000円、学部学生2,000円

▼参加申し込み（登録）の方法

●下記の**参加登録**と**参加費振込**をお願いします。

参加登録 「第35回大会専用Webサイト」の参加登録画面より必要事項を登録してください。

参加費振込 下記のゆうちょ銀行の口座に振り込んでください。

【ゆうちょ銀行から振り込む場合】口座番号：14050-80028191 加入者名：第35回日本保健医療行動科学学会学術大会

【他の金融機関から振り込む場合】銀行名：ゆうちょ銀行 店名：四〇八（ヨンゼロハチ） 種目：普通預金
口座番号：8002819 受取人名：第35回日本保健医療行動科学学会学術大会

※払い込み（振り込み）完了を持って登録となります。

※登録フォームで登録をされましても、上記期限までに払い込み（振り込み）がない場合は、登録完了となりません。

※払い込み（振り込み）手数料は申込者ご自身で負担してください。

※大会当日の「大会Web会場」へのアクセス方法等は「第35回大会専用Webサイト」をご参照ください。

参加登録期限 2021年6月26日（土）15時までの参加登録・参加費振込確認分までとさせていただきます。

▼学習ワークショップ

参加申込 上記の参加申し込み（登録）の手続きを行う際に、ワークショップの参加申し込みも行ってください。各ワークショップには定員に限りがあります。定員に達し次第、受付を終了いたします。